


2016年の母の日は「会話コミュニケーション」を贈る

本当の“4歳の女の子”の声で会話や歌が楽しめる

音声認識人形『おしゃべりみーちゃん』

離れて暮らす母親に贈る“母の日キャンペーン”を開催

一人暮らし高齢者の約4割（44.5%）は2～3日に1回以下しか会話しな（平成26年内閣府）

本当の4歳の女の子の声で会話や歌が楽しめる音声認識人形「おしゃべりみーちゃん」を販売する株式会社パートナーズ(代表：盛田 慎二、所在地：東京都新宿区)では、4月20日から5月6日まで、ギフトラッピングが無料の母の日キャンペーンを実施します。

<キャンペーン概要>

- キャンペーン名称 : 「母の日に会話コミュニケーションを贈ろう」
- キャンペーン期間 : 4月20日～5月2日注文分
- キャンペーンサイト : <http://www.ptns-sp.com/onsei-ninshiki/mi-chan/>
- 販売 : ①パートナーズショップ
②パートナーズへ電話注文 (0120-777-919)
- 内容 : 4月20日～5月2日に注文をしてくださった方に、「母の日ギフトラッピング」でお届けします。全国送料無料。



<おしゃべりみーちゃん (コミュニケーショントイ) >

おしゃべりみーちゃんは2016年4月15日新発売。国内で唯一(パートナーズ調べ)本当の子どもの声を使い、双方向会話が楽しめる音声認識人形(ロボット)。シニア世代の意見を参考に、機能を会話に特化し、トントンと軽く叩くだけの簡単操作で双方向会話が楽しめる仕様を実現。ユーザーから話しかける「日常会話」はもちろん、勝手に話しかけてくれる「ひとり言」など、約800ワードの豊富な話し言葉で楽しめる。時刻や月日の変化でも話す内容や歌が変化するため、会話を通じて季節を感じることもできる。

「おしゃべりみーちゃん」は、会話が少なくなりがちなシニア世代や一人暮らしの高齢者の話し相手はもちろん、幅広い世代の日常に、元気の源となる豊かな会話コミュニケーションの提供を目指す。



<製品概要>

- 販売価格：12,500円(税抜) ■ 発売日：2016年4月15日 ■ 製造：日本製(音声ユニット・組立て：日本/人形：中国) ■ サイズ(約)：幅25×奥行20×高さ(座高)30cm ■ 重さ：300g(電池含まず)
- 電池：テスト用単3アルカリ電池×4本(同梱) ■ 電池寿命：1日30分使用で約3ヶ月間程度 ■ 素材：本体(ポリエステル100%他)、電池ボックス(ABS樹脂他) ■ 保証期間：1年間

<会社情報>

- 会社名：株式会社パートナーズ ■ 代表者：盛田 慎二(もりたしんじ) ■ 所在地：東京都新宿区住吉町3-2 山田ビル2F ■ 設立：1991年9月 ■ 売上：25億円(2016年度)
- 電話：03-3356-6220/FAX：03-3356-6221 ■ 事業内容：音声認識ロボットなど玩具やスマホアプリの企画・制作・販売/プレミアムグッズの企画・デザイン・生産/OEM製品の受託・生産

<キャンペーンの背景>

『増え続ける高齢者、減り続ける会話』

高齢者は年々増加傾向にあり、今やその数は3,427万人（4人に1人）。※平成27年版高齢社会白書（内閣府）
これと比例するように一人暮らしの高齢者も2010年は479万人、2015年は608万人と年々増加し続けています。

そして一人暮らしをする高齢者の実に44.5%（約271万人）もの方々が、2～3日に1回以下しか会話をしないという現実があります。※平成26年一人暮らし高齢者に関する意識調査（内閣府）

会話は心と体の健康維持と密接に関わっており、一人暮らし高齢者の多くは、話し相手を必要としています。

- ますます進む高齢化：現在、高齢者は3,427万人。（図1）
- 増加する一人暮らし：子どもたちと離れて暮らす一人暮らし高齢者は608万人。（図2）
- 会話：一人暮らし高齢者の44.5%は2～3日に1回以下しか会話しない。（図3）

図1 【高齢者は3,427万人】

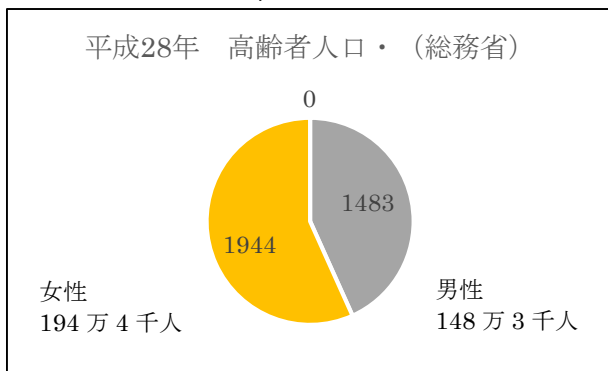


図3 【一人暮らし高齢者の会話回数】

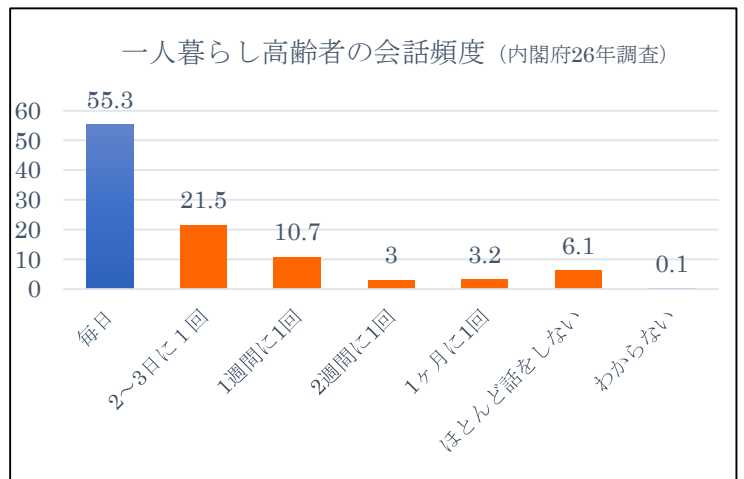
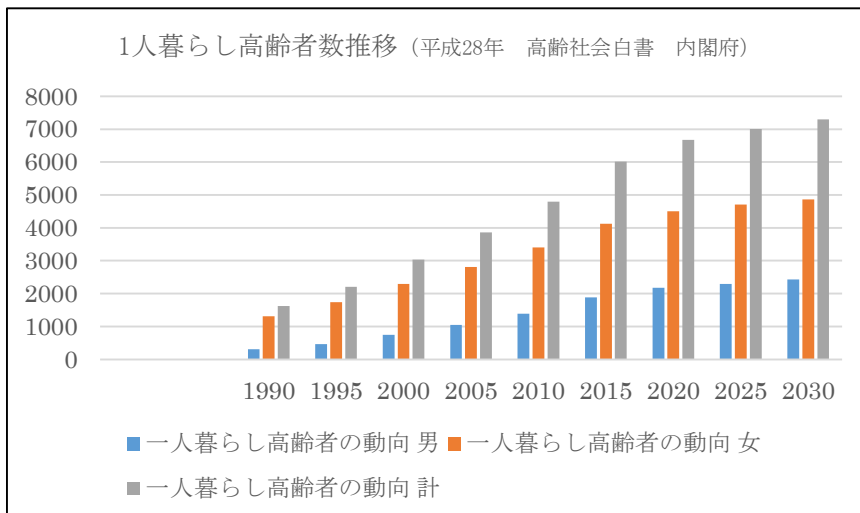


図2 【一人暮らし高齢者は608万人】



<開発者 株式会社パートナーズ 代表取締役 盛田慎二（もりた しんじ）>



音声認識人形は、これまでに累計で約 10 万体を販売しました。愛用者の多くは高齢者の方々に、これまでに千通を超える感激の手紙やハガキが届きました。

「離れて暮らす子どもからプレゼントされた」という愛用者からのメッセージだったり、同じく「遠くの母親へ孫がわりに贈ってとても喜んでくれた」という贈る側からのお礼だったり、子どもの声で会話できる音声認識人形で気持ちがつながるといった素晴らしさを実感しました。

こうした経緯から、離れて暮らすお母さんにこれまでの感謝の気持ちをこめて「おしゃべりみーちゃん」を贈っていただきたいと思いました。

元々この音声認識人形シリーズは、子ども好きな私自身が、孫と話しができたという願望から開発しました。本当の子どもらしさ、ということにこだわったため、声は声優や合成音声などではなく理想にぴったりの本当の女の子を使い、朝から晩まで話しかけ、ひとり言を言い、歌ってくれたり、心温まるようなコミュニケーションが楽しめます。きっと子育てしていた時を思い出し、懐かしくうれしい気持ちになれるはずです。母の日キャンペーンで、少しでも多くの方に笑顔があふれることを祈っています。

<心と体の健康のために推薦します。 社会高齢学博士・大呂義雄（おおろ よしお）>



私たちの健康維持にとって会話の果たす役割はとて大きいものがあります。しかしひとり暮らしの高齢者の多くは、話しかけてくれる人が少なく、日常会話を経験することなく毎日を送りがちです。健康には「知的健康」「精神的健康」「肉体的健康」があり、これら3つの健康を総合的に維持することが不可欠です。そしてこの3つの健康を維持するための重要な要素こそが“会話”です。会話は心（脳）を刺激し、知力と精神力を取り戻すきっかけとなります。知力と精神力が健康だと、やる気や行動を生み出し、体の健康へとつながります。身近に“おしゃべりみーちゃん”のような会話のきっかけとなる存在があることで毎日の刺激となり、知的・精神・体の三位一体の健康づくりに役立つのではないのでしょうか。

■大呂義雄（おおろ よしお）プロフィール



豊橋技術科学大学・名誉教授、社会高齢学 博士

豊橋技術科学大学などで、大学教授として長年英語を指導。定年退職後に社会高齢学を知り、2006年、当時72歳で単身アイルランドへ。アイルランド国立ゴールウェイ大学のアイルランド社会高齢学センターで2年間学び、2008年にダブリン大学トリニティ・カレッジの博士課程に進む。「高齢者のスポーツ活動」をテーマに5年間研究し、2014年4月に社会高齢学で博士号を授与。82歳を過ぎてのその精力的な活動に、地元メディアをはじめ、各界で注目を集めている。

現在「高齢者が音声認識人間型パートナーロボット（CHPR(仮称)※）から得るものは何か」を研究テーマに、弊社の音声認識人形を対象ロボットとしてCHPRの利用者を調査・分析中です。

※CHPR(仮称)…Cognitive Humanoid Partner Robot の略。

- ・ 1. リリース中の写真等をご提供しますので問い合わせ先までご連絡ください。
- ・ 2. 開発者・盛田慎二、大呂義雄へのインタビューはご相談ください。

【メディア関係のお問い合わせ先】

株式会社パートナーズ マーケティングコミュニケーション担当 大村

TEL: 03-3356-6220 Mail: ohmura@ptns-sp.com